

第57回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

○日時：令和元年 7 月 24 日(木)11:00～12:00

○場所：中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室

○Pitch テーマ：基礎研究からイノベーションを目指すバイオベンチャーの研究開発

○招へい者：東京大学大学院理学系研究科・化学専攻 生物有機化学教室・教授 菅 裕明

○出席者：平井国務大臣、上山CSTI常勤議員、赤石イノベーション総括官、別府内閣府審議官、松尾統括官(科技)、三又局長佐(知財)、佐藤審議官(科技)、高原審議官(科技)、柿田審議官(科技)、渡辺次長(知財)、渡辺参事官(科技)、中里参事官(宇宙)、奥田参事官(IT)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 東京大学からの説明

- 東京大学先端研(現・理学系研究科)・菅裕明教授が、開発した「3つのコア技術」を基盤に創業。特殊ペプチド医薬品の開発を国内外製薬企業と連携し開発する創薬ベンチャー。連携開発に加え、独自の医薬品の開発を進め、連携先への技術サブライセンスもする。
- PD 社のビジネスモデルは、共同開発事業、技術ライセンス事業、戦略的パートナーシップ事業、自社開発事業であり主に大手製薬会社との共同開発を行っている。技術ライセンスは主に海外企業に対して行っている。
- MRC Laboratory of Molecular Biology を事例として、リサーチパークの成功事例の紹介があった。
- 研究(Research)・開発(Development)・価値創造(Innovation)の3つを分けることが健全であり、成功の秘訣である。
- 安定した職(テニユア)があったからではなく、モチベーションがあったから創業ができた。
- 成功した鍵は突き抜けた技術であると考えている。

3. 質疑応答・議論

以下の意見・提言があった。

- 成功した人がエンジェル投資家になって新たなベンチャーを支援するという循環を作っていくべきである。
- 儲けを出して雇用を生み出し、次につなげていくことが重要であり、起業家が金持ちになるだけでは何も生まれない。
- リサーチパークを日本でももっと作っていくことが重要である。
- スtockオプション(新株予約権)をもっと活用すべきである。
- 企業が研究開発費をもっと使うような仕組みを政策として考えるべきである。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)